

英語英米文学科 3年

留学大学：ハワイ大学マノア校

留学先国・都市：アメリカ・ハワイ

留学期間：2023年3月～2023年6月

留学の目的としては英語の学習、ボランティアへの参加を通してより自然な英語を習得することであった。

最初の文法の授業で、英語の基礎である文法の知識が欠けていたこともあってか、先生が言っていることがほとんどわからなかったため、自分よりレベルが高い人のクラスに参加している気分になり萎縮した。しかし、せっかく留学に来ているのにできない事を恥ずかしいと感じているだけでは終われないと思い、普段の授業でも間違えることを恐れずに、発言の機会がある際は積極的に問いに答えるようにした。また、授業中や宿題を解いている際にわからない問題や気になる点があった場合は理解ができるようになるまで友達や先生に質問をするようにした。それにより、より正確な英語の使い方と積極性を得ることができたと思う。

学生用のラウンジで放課後に宿題をすることにより、違うクラスの人と宿題について意見交換ができたことも更なる学びにつながっていたと思う。

また、HELPの学生はハワイ大学が提供している学生用の発音のレッスンを無料で受けることができたため、制度を活用して授業外の時間でも英語を学ぶようにした。英語を発音する際の口の形や正確な音を学ぶことによって、自分の発音をより良いものにできたと思う。英語が母語の人と会話をすることが、自然な英語の習得につながっていると思っていたので、バレーボール、野球観戦、ハイキング、ブランチなど、先生が開催するイベントに積極的に参加するようにした。その際もわからない表現があれば、すぐにどういった意味か先生に直接確認するようにした。そうすることにより、新しいボキャブラリーを得ることもでき、より自然な英語の語法を学ぶことが出来たと思う。また、イベントに参加することにより、クラスの違う生徒とも仲良くなることができた。日常生活でも様々な場所にでかけることを目標に過ごしたが、日本では見る事ができないような景色を見る事が出来たのは良い経験になったと思う。

また、ホノルル国際映画祭やマラソン、サイクリングイベントなど、何等かの機関によって公的に開催されているイベントを手伝うことも多く、自分の参加が運営を妨げず、助けるものにしたと思う責任感を持つことができ、加えて、一般の参加者と会話する機会もあり、実践的に英語を使い学ぶことが出来る良い機会になった。